

# 宮城野萩だより

宮城野萩だより 第38号 WEB版

編集・発行 令和2年12月25日  
仙台育英学園父母教師会  
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2丁目4-1  
Tel. 022-256-4141 Fax. 022-299-2408



## ご挨拶



## 父母教師会活動の報告

父母教師会 会長 小山 博史

父母教師会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。コロナ禍においても、仙台育英学園は生徒の学びを優先しつつ迅速に感染症予防対策に努めてくださっております。このことは、ICT活用だけではなく部活動における生徒の活躍や進路決定の高校3年生の懸命な努力などからも伺うことができます。会員の皆様におかれましても、Classiを通しての総会議案承認などへのご協力や各ご家庭における感染対策にご協力くださり、ありがとうございます。

さて、今年度の父母教師会の活動をご報告させていただきます。本来ならば各支部に出向き、会員の皆様の声を聴くべきところですが、自粛させていただいております。私学振興大会も中止となりました。しかし、このような状況においても、会員の皆様やOB・OGの皆様より父母教師会に温かいお言葉やご支援をいただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。皆様ご承知のとおり、10月1日に学園との第二次共同宣言「ソーシャルメディアを利用したいじめ防止に向けた活動」に同意することを父母教師会は宣言いたしました。今後も新しい生活様式に対応しながら活動を行って参ります。引き続き仙台育英学園及び父母教師会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 今年こそ学園が 宮城の奮起のために

仙台育英学園教育振興会 会長 小坂 信雄

去り行く2020年、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年。学園も家庭もなす術もなく茫然自失の毎日でしたが、仙台育英学園は臨機応変に、かつ将来を見据えた学園活動を進め、困難な状況をも克服しました。

特に、集団活動での感染対策は制限が多く、生徒が覇を競って自己鍛錬を重ねてきた各種の競技は感染防止のための活動自粛を強いられました。しかし、その中で幾多の運動部と文化部が学園の代表として、さらに東北・県代表として全国制覇を目指して出場の栄誉を得たことは、コロナ禍でとかく暗いことばかりの宮城に学園が元気をもたらしました。そして県民の皆様から選手諸君へ大きなエールをいただきました。

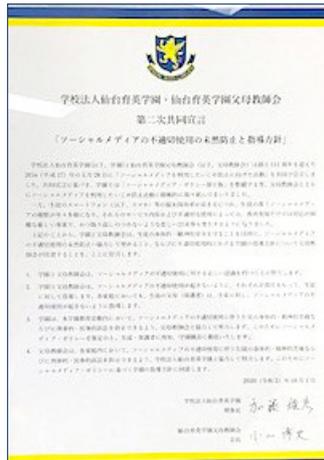
学園に対する大きな期待は、在校生に対する大きな期待でもあります。この時期に応えるべく、在校生の皆さんの更なる奮起を期待します。特に三年生の皆さんには、これまでとは大きく異なる環境の中での高校生活の総仕上げとなりますが、目標完遂のため「至誠」「質実剛健」「自治進取」の建学精神のもと、目標を完遂されることを願っております。

最後になりましたが、保護者の皆様の教育振興会へのご協力に深謝し、これからの活動への一層のお力添えをお願い申し上げます。



## 学校法人仙台育英学園・仙台育英学園父母教師会 第二次共同宣言

### 「ソーシャルメディアの不適切 使用の未然防止と指導方針」



平成 27 年 5 月、「ソーシャルメディアを利用したいじめ防止に向けた活動」を学校法人仙台育英学園と仙台育英学園父母教師会が共同で宣言しました。以来、学園では「ソーシャルメディア・ポリシー第 1 版」を整備するなど、父母教師会とともにソーシャルメディアを利用したいじめ防止活動に積極的に取り組んできました。

昨今、生徒のスマートフォンの保持率が高まり、不適切な使用や書き込みによって重大な事件・事故に巻き込まれたり、いじめ事案の加害者・被害者のどちらにもなり得るなど、教育現場だけでは対応が困難な状況にあります。

このような社会状況を鑑みて、今年度 10 月に書面による、臨時の父母教師会総会を実施し、会員の皆様の賛同を得て、学園と父母教師会は生徒の身体的・精神的な安全、安心な学校生活を守るための第二次共同宣言をいたしました。

## Topics

# みやぎ高校PTA フェスティバル 2020

今年度は、宮城県私学振興大会をはじめ例年実施されていたほとんどの行事が、コロナ禍にあって開催を自粛、中止となりました。しかし、去る10月6日（水）、楽楽楽ホールにて宮城県高等学校PTA 連合会主催の「みやぎPTA フェスティバル 2020」が開催されることになり、小山会長と事務局からの3名が参加しました。

フェスティバルの当日は、3密を避けるために参加者は各校3名以内、座席は間隔をあけて座る、健康チェックシートの提出と検温、手指の消毒をして会場に入るといった新型コロナウイルス感染対策をとりながら開催されました。

大会は、開会行事の後、講演、アトラクション、パネルディスカッションが行われ、閉会しました。



## Topics

### みやぎ高校PTA フェスティバル2020

#### 《講演》

演題 「学びが創る地域の未来」

講師 (株)WATALIS 代表取締役 引地 恵氏

東日本大震災から間もなく10年を迎えます。震災を共に乗り越えてきた子どもたちも高校生に育ち、今度は新型コロナによって、新たな生活スタイルが求められることになりました。10年前の苦境を乗り越えてきた私たちが、今回の苦難をどのように受け止め、どのように乗り越えようとしているのか。これからの家庭、PTA、学校、地域の未来の在り方について講話をいただきました。

#### 〈講話のポイント〉

##### ◆将来の人づくり

- ・子供たちには、人と関わり視野を広げ、人に感謝する気持ちを育てる。
- ・「自分ならできる」と思えると「自己肯定感」「自己承認」が高まる。
- ・子供たちに培ってほしい力  
〈自立する力・自分で考える力・自分で選択する力・自分で行動する力・自分で結果を引き受ける力〉

##### ◆家庭×PTA×学校×地域（私たち大人ができること）

- ・子供たちの存在自体を「肯定」「承認」する。
- ・子供たちを応援する（エールを送る）。
- ・大人や地域との信頼関係をつくる。
- ・学びの機会を提供する。



## 支部だより

### 仙台育英学園父母教師会 石巻支部の活動

石巻支部 支部長 今野 孝紀

仙台育英学園父母教師会の会員の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和2年はコロナに翻弄された1年になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方のご指導のもと、与えられた環境の中で生徒の皆さんがしっかりと自分の足元を見つめながら粛々と学園活動生活に邁進している姿は、一保護者として万感の思いがあります。

さて、PTA石巻支部は、保護者20名と参与の渡部洋先生の21名で役員を構成し、生徒数243名（仙台育英学園高校生233名、秀光中等教育学校生10名）のために活動しております。

例年ですと7月に支部総会を加藤雄彦校長先生、小山博史父母教師会会長をはじめ十数名の諸先生方や本部役員の方々のご臨席を賜り実施しておりますが、今年はコロナ禍でもあり、書面決議による総会となりました。

それに伴い役員の改選・引継ぎも例年より1カ月ほど伸びてしまい、前支部長の菅原秀之様、前役員の皆様には、大変ご苦勞をお掛けし、ご尽力いただきました。また、例年11月に開催のライオンフォーラムも自粛要請があり、今年は開催しないことになりました。

ライオンフォーラムでは、部活動などで優秀な成績を収めた生徒の表彰。第一部として学園の先生を講師に教育講演会。第二部では懇親会を催しています。昨年は副校長の大林 茂先生に「仙台育英学園の教育」と題して、ご講演いただきました。

毎年、活躍した生徒をどのような形で表彰を行うかを話し合いました。多くの大会の不開催という状況もあり、部活動で活動している生徒だけでなく、どの生徒も頑張っているとの意見も出され、検討を重ねた結果、来春巣立ちを迎える3年生全員にメッセージカードを送ることを考えました。次回役員会で、カード作成の準備を進めていきたいと考えています。

今年度はコロナ禍でもあり、1年生の支部会費（1年分）を免除し、緊縮財政の中ではありますが、子供たちのために、今何ができるのか、模索していきたいと思っております。

今後とも石巻支部活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

# Report

## 学園生活

### コロナ禍での学園

未だ猛威を振るい続ける新型コロナウイルスは、これまで当たり前前に送ってきた生活を一変させました。感染予防のための密接、密集、密閉の3密を避けた生活など、新しい生活様式が叫ばれています。このような状況下にあっても、私たちの子供が通う仙台育英学園は、子供たちの安全を最優先にすえ、先を見越した新型コロナウイルス感染予防対策を的確に打ちだし、学園の運営を推進してきました。結果、学園の教育活動を止めることなく、子供たちの将来に向けて一層力強く教育活動が進められています。私たち保護者は、安心して子供の教育を学園にお任せすることができるとともに、逆転の仙台育英の教育活動がコロナ禍にあっても揺るぎなく進められていることに保護者としても学園を誇りに思います。

これまでの学園生活を振り返りたいと思います。

#### ■入学式 将来の夢の実現に向けてスタート

社会全体が、新型コロナウイルス感染の不安を抱えていた4月、卒業式や入学式の様々な行事が中止、自粛など、先が見えない時期が続いていました。そのような中、学園は前途洋々たる新入学生の門出を祝う入学式を挙行していただきました。仙台育英学園生としての自覚を持ち、将来の目標に向けて学び続ける姿勢を確認することができました。



▲高校入学式【4/10・11】



▲秀光入学式【5/8】

## Report 〈学園生活〉

### 登校の状況

#### ■登校の様子

多くの生徒は県内各地から公共交通機関を利用して通学するため、始業時間を遅らせ、三密を避けて登校しました。さらに登校に不安を感じ、オンラインによる授業を希望する生徒には柔軟に対応しました。

「おはようございます」 今日も元気に登校する生徒



▲検温所を通過



▲検温時、体温が表示されます

#### ■授業の様子

授業の確保、特に大学受験を控える3年生にとっては、待ったなしの最終学年の年であり、学習時間の確保のための対策、さらに3密をさけるための対策がとられました。また、県内のどの学校にも先駆けて全学年でのオンラインによる授業、分散登校による授業なども展開してきました。



▲オンラインによる授業（高校）



▲オンラインによる授業（秀光）

#### ■秀光1・2年生（前期課程）のオンライン歌舞伎講座

今年度は、多賀城校舎の英松庵にて行ってきた茶道教室に変えて、歌舞伎役者の中村壱太郎さんを講師にオンライン歌舞伎講座を実施しました。歌舞伎の講座をとおして日本の伝統について学びました。

## Report 〈学園生活〉 オンライン歌舞伎講座



▲受講の様子（秀光1年生）【7/28】



▲受講の様子（秀光2年生）【7/30】

### 《参加生徒の声》

#### ■秀光1年生

##### 「歌舞伎の魅力を知る」

今まで歌舞伎は、音楽に合わせて動くだけのものだと思っていたのですが、「今回の鶯娘」を見た時に、何かに心を動かされた気がしました。そして、歌舞伎が目や耳だけでなく体全体や心でも感じられるものだということを知りました。このことによって、歌舞伎を初めて見た外国人観光客が感動することの心理が分かった気がしたと思います。

#### ■秀光2年生

##### 「歌舞伎の見どころ」

歌舞伎は「音」「演技」「舞い」の通り、それぞれに特徴がありました。「音」は太鼓の音で自然の音をあらわし、「舞い」をきわただせていました。「舞い」では、壱太郎さんの実際の公演を見て女性が吹雪で死んでいく様子が風に流されていくような舞で表現されていました。「演技」では、腰を下ろして雨をよけている様子を忠実に再現していました。歌舞伎はいろんな見所が凝っているからこそ人気なんだと思いました。

##### 「次の世代に伝承すべき日本文化」

歌舞伎について(特に歴史など)知っていたこともあったが、細かい所作や基本的な動きなどについて、初めて知ったことも多くとても勉強になった。そして、歌舞伎を裏で支える音楽についてもとても興味を持った。歌舞伎の動きと演奏される音楽がぴったり合っていてとても驚き、これが日本伝統文化のすばらしさだと改めて実感できた。普段なら触れる機会の少ない歌舞伎だが、日本の文化として次の世代に伝承していくべきだと思いました。

# Report

## 充実の学習活動

### ■ PLAN2000 宿泊学習研修（8・9月）

特進、秀光コースの1年生を対象に山形蔵王においてPLAN2000が実施されました。この研修は、国公立大学や難関私立大学への現役合格を果たすために、学習時間の一層の確保と効率的な学習習慣の確立を図るものです。そして、仲間と共に切磋琢磨する気持ちを意識づけ、今後の学習に繋げることを目的としています。研修期間中は、700分を超える自学自習時間を設定され、自分が分からなかった点をどれだけ克服できるかに挑戦しました。

コロナ禍でもあり、三密を避ける方法で例年より少ない人数に編成して行われました。



## Report 〈充実の学習活動〉

### PLAN2000 宿泊学習研修

#### ■特別進学コースの生徒より -1

## PLAN2000 を終えて

小島さん【特別進学コース1年】

自然豊かなヴァルトベルグで行われたPLAN2000。始まる前は、スマホ禁止で正直きついなと感じていました。しかし、黙々と勉強してあっという間に時間は過ぎていきました。

今思えば、それは「仲間の力」のおかげだったなと思います。周りが勉強していたからこそ私も頑張れたし、みんなも頑張れた。改めて仲間の大切さを実感しました。また、クラス対抗の長縄跳びでも、どうしたら記録を伸ばせるのかとクラスメイト同士で相談しました。分散登校の影響で、クラス内で仲がいい人たちの塊が出来上がっていたので長縄跳びを通して、新しく仲良くなった人もできました。

今回の研修を一言で表すなら「仲間」だと思います。これからは仲間と切磋琢磨しながら目標を達成できるように頑張っていきたいと思います。

#### ■特別進学コースの生徒より -2

## PLAN2000 を終えて

相澤さん【特別進学コース1年】

山形県の蔵王でプラン2000という勉強合宿があり、私は自分なりの学習方法が決まっていなかったもので、他の人達の学習方法を見て自分に合った方法を見つけるという目標をもって参加しました。

自主学習の時間に友達のノートを見せてもらうなどして、学習方法を聞いてみました。ポイントごとに色を分けたり、主にワークを解いたり様々な方法があることを発見することができました。勉強合宿では、勉強だけではなくクラス対抗で長縄跳びをしたりして、クラス内の距離がとて近くなりました。

自分なりの学習方法を見つけることができ、友達ともさらに仲良くなることができ、とても楽しく、充実した三日間でした。

## Report 〈充実の学習活動〉

### PLAN2000 宿泊学習研修

#### ■秀光コースの生徒より -1

## 誘惑のない空間から

浅岡さん【秀光コース1年】

私は PLAN2000 を通じて、勉強する環境の中にある誘惑を徹底的に排除すべきと感じました。

日頃、私たちは誘惑の多い空間にいます。

部屋にいれば、スマホがあり、テレビがあり、食べ物があり、様々な自分の好きなものに囲まれつつ勉強しなければなりません。そのような空間では、質の高い勉強を実現することは難しいものです。ですが、PLAN2000 では誘惑がない空間を体験できました。そこで部屋を見直し、誘惑を排除してみたところ、勉強習慣が改善され、効率も上がったと感じています。この体験を糧に、今後も誘惑のない環境作りから、勉強の質を高めていきたいと思えます。

#### ■秀光コースの生徒より -2

## 普段とは違う学舎

菊地さん【秀光コース1年】

今年は例年とは違い新型コロナウイルスの影響で男女別々、いくつかの班に分かれての参加でした。普段は10人程度のクラスみんなとグループワークの授業で意見を共有して一つの問いに対して考えるという生徒主体の授業がメインなので、特進コースの人たちとの集中講義は新鮮でした。自主学習ではいつにも増して緊張感があり、分からないところがあればすぐに先生に聞きにいけてより勉学に励むことができました。

そして交流会の大縄跳びでは、周りは初対面の人がほとんどでしたが、どうすればより多く飛べるかなど作戦を練り、協力し合うことができ、勉強面でも交流面でも充実した3日間になりました。

# Report

## オンラインによる学園行事の開催

### 輝き、躍動、感動、充実の オンライン育英祭・秀光祭

#### 【オンライン育英祭】

#### ■よさこい愛好会

### オンライン育英祭の魅力を発見

長倉さん【特別進学コース1年】

高校に入学し、初めての育英祭が中止となると聞いたときはとても驚き、悲しみと不安でいっぱいでしたが、「オンライン」という形で育英祭を実施することが決まり、友人とともに喜びました。昨年ほどの内容はできませんが、感染予防のために様々な行事が中止になっている中で、育英祭自体が中止にならなかったことはとても幸運なことだと感じます。

私たち「よさこい愛好会」は、コロナ禍でたくさんのイベントが中止となり、日々練習している演舞を披露する機会を多く失ってしまいました。だからこそ、この機会に演舞を披露できたことには学校の先生方をはじめ、関係する沢山の方々にとても感謝しています。

通常どおりの育英祭を行いたかったことは事実ですが、オンライン育英祭を体験したことでオンライン育英祭ならではの良い点に気づくことができました。私は特にYouTubeでの配信という点で、離れて暮らしている祖父母に演舞を見てもらえたことがうれしく、印象に残っています。見る場所や時間が限定されていないオンライン育英祭は、多くの人に見てもらいやすい魅力的なものであり、貴重な経験になりました。



▲よさこい愛好会の発表【2020年オンライン育英祭】

## Report 〈オンラインによる学園行事の開催〉

オンライン育英祭・秀光祭

### 【オンライン育英祭】

#### ■獅子太鼓部

## 今年の育英祭を振り返って

阿部さん【英進進学コース3年】

去る8月8日。例年より2か月早く、そして新しい形で育英祭が執り行われました。コロナウイルスによって私たちを取り巻く環境に大きく変わり、例年のように各地に出向いて演奏することもなくなってしまいました。3年生にとっては最後の年。しかしながら活動の場も激減し、楽しい思い出も作れないという現実には打ち拉がれる部員もいました。

そんな絶望ムードの最中、一件の依頼が舞い込んできました。それは「オンライン育英祭への出演」でした。他の団体に比べて小規模な団体であったため、部員全員で喜んだことをよく覚えています。

それ以降、私達はこの舞台を大きなミスなく成功させる為に出演メンバー各々の動きや演目の完成度にこだわりをもって日々練習を重ねていきました。出演メンバーが揃わないなどといったアクシデントに見舞われましたが、それに動じず勇猛果敢に練習に取り組みました。その結果として、今回のような素晴らしい時間を過ごせたと実感しています。

最後に、今回育英祭で共演した全ての団体、収録・編集を担当したプロジェクトチームの皆様、そして私達を支えてくれた数多くの人達に感謝の意を表したいと思います。本当に、ありがとうございました。



▲獅子太鼓部の発表【2020年オンライン育英祭】

## Report 〈オンラインによる学園行事の開催〉

オンライン育英祭・秀光祭

### 【オンライン育英祭】

#### ■獅子太鼓部

## 新しい育英祭のかたち

■獅子太鼓部 顧問 杉田 愛

コロナ渦で各地イベントが延期となり、今年の育英祭は正直諦めていました。8月にオンライン育英祭を開催するという話を聞いたとき、驚きとともに新しい形になるという期待を抱きました。

獅子太鼓部は、主に地域のお祭りやイベント、介護福祉施設、郷土芸能大会等で活動していますが、春からの活動の場がゼロになり、生徒たちはこのままどうなってしまうのだろうか…と不安を感じていたと思います。そんな中、このオンライン育英祭が開催されることになって生徒たちは本当に喜びました。放課後の限られた練習時間の中で、学年の垣根を超え、皆でコミュニケーションを取りながら協力し、一生懸命練習に励みました。それゆえに、多くのカメラやドローンによる収録本番では、生徒たちはどこから撮影されても大丈夫なよう気合いの入った演奏をしてくれました。顧問として彼らの演奏は最高であり、心に響き、誇りに思いました。演奏後の生徒たちは笑顔と涙でいっぱいになっていました。今年の育英祭は特別なものになったと感じています。

無事に開催でき、多くの文化部が花開くことができたのも、関係された皆様からの温かいご支援ご協力の賜と存じます。改めて心から感謝申し上げます。今後も、育英祭を継承し、新たな高校生の芸術文化活動への発展に貢献できるよう活動していきたいと思っています。



## Report 〈オンラインによる学園行事の開催〉

オンライン育英祭・秀光祭

### 【オンライン秀光祭】

#### ■秀光オーケストラ部

## オンライン秀光祭

秀光オーケストラ部令和2年度部長 奥村さん【秀光コース2年】

今年度の秀光祭は私にとって最後の秀光祭でありながら、オンラインで演奏をお届けするのは初めての経験だったので、不安が大きく、自信はありませんでした。撮影日が近くなるにつれ、どうしたら画面の向こうにいる観客の皆さんに楽しんでいただけるかと考える日が続きました。

実際に収録という形で本番を迎えてみると、1度きりではない本番を何度も繰り返し、集中力と戦いながらのステージとなりました。演奏直後に皆さんの反応が見えないのは不安でしたが、配信後に多くの先生方や、保護者の方から好評をいただくことができ、自分たちの演奏が届いたことを実感しました。

これまでにない形態での開催となりましたが、誰もが苦しい状況の中で、いただいた演奏の機会を充実したものにできたことに嬉しく思います。本当にありがとうございました。



▲オンライン秀光祭の収録で【2020年10月】

## Report 〈オンラインによる学園行事の開催〉

オンライン育英祭・秀光祭

### 【オンライン秀光祭】

#### ■秀光オーケストラ部

## オンライン秀光祭

佐藤さん【特別進学コース1年】

まず、今年もオンラインではありますが、秀光祭が開催できたことを嬉しく思います。

今年は去年よりも人数が少なかったり、新型コロナウイルスの影響により例年よりも練習時間が短かったりといくつか壁があり、不安に思っていました。しかし、皆で積極的に合わせたり、パートごとに練習したりしながら少しずつ完成に近づけていくことができました。今回は、収録という形で、いつもと違いカメラで撮られながら演奏するので少し緊張もしましたが、練習の成果を出すことができ、良かったと思います。また、毎年、高校2年生は秀光祭で引退してしまうのですが、先輩方がこれまで後輩達に優しく指導している姿や一生懸命練習している姿をみて、引退してしまう寂しさと同時に、私も先輩方のようにならなければいけないという責任感を感じました。これからは、私が後輩達を優しく導いてあげられるように頑張りたいと思います。

そして、残念ながら、練習時間などの関係上、今年は一年生が参加できませんでしたが、来年は一緒に演奏できるように、来年も秀光祭が開催できることを願っています。

最後になりますが、今年も秀光祭を開催するにあたってご尽力頂いた先生方、本当にありがとうございました。



▲オンライン秀光祭の収録で【2020年10月】

# Message

## 全国大会出場

# 全国大会に向けて流した汗と涙

### 【男子第71回全国高等学校駅伝競走大会】

7年連続31回目の出場

#### ■陸上競技部 男子

## 都大路に向けて

山岸さん【英進進学コース3年】

今年は新型コロナウイルスの影響により、前期最大の目標であったインターハイが中止となり、その他にも数々の試合が中止となりました。その中で4月から約一ヵ月半、チームとしての活動自粛を余儀なくされ、各自での練習となり、モチベーションの維持に苦労しました。しかし、都大路が開催されることを信じて、「2連覇」という目標に向けて各自が懸命に練習に励んできました。その結果、チーム練習再開後の成長は目覚ましく、例年以上にレベルの高いレギュラー争いを繰り広げることができました。コロナ禍により自分自身と向き合う時間が増えたことで、成長できたと感じています。

10月の県予選では、昨年を上回る記録で優勝し、更に士気が高まっています。都大路では、これまで指導して下さった監督・コーチ、陸上競技部の活動に対してご理解いただき、常にサポートをして下さった先生方、家族への感謝の気持を持って襷を繋ぎ、必ず「2連覇」を成し遂げて、最高の形で恩返ししたいと思います。応援よろしく願いいたします。

【大会結果】 2020年12月20日（日）実施

◆男子第71回全国高等学校駅伝競走大会

2位 2時間1分44秒



▲県予選で【2020年10月】

## Message 〈全国大会出場〉

全国大会に向けて流した汗と涙

### 【女子第32回全国高等学校駅伝競走大会】

29年連続29回目の出場

#### ■陸上競技部 女子

## このチーム最後の大会の想い

門脇さん【英進進学コース3年】

女子陸上競技部は、12月20日に京都都大路で全国高校駅伝があります。

春はコロナ禍の為全員帰省し、各自で練習を行ってきました。それは孤独さとの戦いで、チームの大切さを感じたり精神面が強くなったりし、今では良い体験だったと前向きに捉えられています。インターハイがなくなったり、記録会は例年の出場数に比べ、半数以上の試合に出れなかったりと、今年は今までとは違う考え方や取り組みを意識してきました。

昨年全国高校駅伝を優勝し、今年1年は「連覇」を目標にチームで練習を行ってきました。手堅く4年連続3番以上という目標を掲げ、その中でチャンスがあれば優勝を目指します。今年のチームは安定力があり、学年関係なく仲が良いです。その安定力を活かし、たくさん話し合いながら本番に向けて気持ちを高めていきたいと思います。残りの期間で1人1人が少しでも調子を上げていき、今までで一番良いコンディションに仕上げていきます。

全国高校駅伝を開催してくださることに感謝し、走れることの喜びやこのチームで最後の大会という熱い気持ちをレースにぶつけ、全力を尽くしたいと思います。

【大会結果】 2020年12月20日（日）実施

◆女子第32回全国高等学校駅伝競走大会

3位 1時間7分48秒



▲県予選で【2020年10月】

## Message 〈全国大会出場〉

全国大会に向けて流した汗と涙

### 【第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会】

25年連続27回目の出場

#### ■ラグビー部

## 部員一丸となって頑張りました

青沼さん【英進進学コース3年】



今年は部員一丸になったの充実した練習に打ち込むことができ、例年に引けをとらない仕上がりになっています。今大会の目標は、監督もおっしゃっている通り、正月を越えること。このチームなら実現も夢ではありません。コロナ禍という異例な状況の中で大会開催を実現してくださる方々に最大の感謝の思いを捧げながら、戦いに挑んでいきます。



▲県大会決勝で【2020年10月】

## Message 〈全国大会出場〉

全国大会に向けて流した汗と涙

### 【第99回全国高等学校サッカー選手権大会】

4年連続35回目の出場

#### ■男子サッカー部

## 全国大会に向けて

豊倉さん【特別進学コース3年】

今年は、新型コロナウイルスの影響により思うように練習ができず、とても苦しい年でした。部活動の自粛やインターハイをはじめとする各種大会の中止など、自分たちの集大成の年にこのような事態になってしまい、どこを目標にチームを、そして自分自身を成長させていくべきか戸惑うこともありましたが、しかし、冬のサッカー選手権開催が決まってからは、部員それぞれが明確な目標を持ち、意識高く練習を行うことができました。このような努力を個人としてもチームとしても継続できたことが全国大会に勝ち進めた大きな要因だと思っています。

今年のチームの目標は、全校ベスト8という去年の先輩方の記録を超えることです。今年は、例年よりも個人の能力が高い選手が多くそろっており、去年ベスト8まで勝ち進んだ際のメンバーが半数以上残っています。このような大舞台上で試合をした経験は、必ずチームにとってプラスになると思います。鍛え上げた堅守速攻を粘り強い守備、再度攻撃といった自分たちの特徴を存分に発揮し、一戦一戦戦い抜きたいです。そして、導いてくれた監督、コーチ、いつも一番近くで応援してくれた両親、そして私たちを支えてくれた全ての人への感謝の気持ちを忘れずに全国大会に挑みたいと思います。



▲県大会決勝で【2020年11月】

## Message 〈全国大会出場〉

全国大会に向けて流した汗と涙

### 【第11回全国私立高等学校テニス選手権大会・ 第43回全国選抜高校テニス大会】

#### ■硬式テニス部 男子

## 諦めない

佐藤さん【情報科学コース2年】

私たちテニス部は、令和3年1月に第11回全国私立高等学校テニス選手権大会、3月に第43回全国選抜高校テニス大会に出場します。

テニス部は、宮城野校舎を拠点に、男子16人、女子7人で活動しています。高校で初めてラケットを握った部員はもちろん、小さい頃からクラブチームに所属している部員もいるので、みんなで切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。

しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響で、思うような練習ができない日々が続きました。出場予定だった全国選抜大会やインターハイ予選、県新人戦の個人戦なども出場することができず、悔しい思いをたくさんしてきました。この思いを団体戦にぶつけよう。そうみんなで誓い挑んだ全国選抜宮城県予選。メンバー一人一人が最後まで勝つ意識をもち続け、昨年度に引き続きアベック優勝することができました。仙台育英の勢いは止まることなく、全国私学大会東北予選、全国選抜大会東北予選もアベック優勝し、二つの全国大会出場の切符を手に入れることができたのと同時に、テニスができることへの感謝を再確認することができました。

これから始まる二つの全国大会では、ベスト8以上という目標を持ちながら、家族、仲間、先生方、大会を運営してくれている人への感謝の気持ちを忘れずに、最後まで戦い抜きたいと思います。



## Message 〈全国大会出場〉

全国大会に向けて流した汗と涙

### 【第11回全国私立高等学校テニス選手権大会・ 第43回全国選抜高校テニス大会】

#### ■硬式テニス部 女子

## 全国大会に向けて

下原さん【英進進学コース2年】

私たち女子硬式テニス部は、太田先生のご指導のもと2年生3名、1年生4名の計7名という少人数ですが、チームワークを大切に強い絆を持って、日々練習に取り組んでいます。

今年度の秋に開催された東北私学大会と東北選抜大会では昨年度に続き優勝し、令和3年1月の全国私学大会、3月の全国選抜大会に出場予定で上位進出を目指しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各スポーツ界において中止や延期が相次ぎ、私たちも出場が決定していた全国選抜大会やインターハイ予選などの大会が中止となり、残念で悔しい思いをしました。現3年生の先輩の悔しい思いも背負い、一人一人が勝利に対する強い気持ちと責任、自覚を持ち大会に臨みました。

現在も新型コロナウイルス感染は第三波として拡大している状況ですが、大会があることを信じて日々練習に取り組み、何よりもこの社会状況の中でテニスができる喜びを持ち、私たちを支えてくださったすべての方々への感謝の気持ちを忘れずに最高の試合をできるように頑張ります。

また、2021年3月は東日本大震災から10年になります。未だ被災地では完全に復興していないところもありますが、私たちテニス部は少しでも明るい話題として勝利の報告ができるように全力でプレーしてきます。応援よろしくお願ひします。



# Message

## 大会での活躍

### 躍動・感動・輝く 仙台育英

#### 【国際高校生選抜書展(書の甲子園)等】

##### ■書道部

### コロナ禍で皆の理解と協力から学んだこと

岡さん【英進進学コース3年】

書道部には宮城野・多賀城、各校舎の部員が所属しています。また県北・県南などの地域からの通学で、シャトルバスを利用している部員もいます。そのような状況から、部員相互の理解と協力のもと、以前からオンライン活動を取り入れてきました。もちろん全てがオンラインでできないため、毎週行うミーティングや数多くの校内合宿により多くのことを補ってきました。

しかし、今年度はコロナ禍でもあり、例年の校内合宿のほとんどを自宅での活動に変え、部員同士が会えない分、オンラインでコミュニケーションをとり、各部員の関係を築くことにも努めてきました。

コロナの影響で、書道展の半分以上は中止、もしくは延期となり、つらい思いをした時期もありました。それでも「書道パフォーマンス甲子園」や「全国高等学校総合文化祭」は、オンラインでの代替となり、育英祭も「オンライン育英祭」として開催され、各大会で部員の成果を披露する場を設けていただきました。さらに、仙台商工会議所様や仙台市消防局様、仙台北法人会様、多賀城市様などの書道パフォーマンスの撮影の依頼を受け、いろいろな経験をさせていただくことができました。

そして、私達の一年間の集大成となる「国際高校生選抜書展(書の甲子園)」は、今年度、オンラインにより開催され、団体で全国準優勝を収めることができ、心から嬉しかったです。

今年度は、家族や部員みんなの支え、また先生方や大人の方々の、多くの支えや支援があったからこそその活動ができたと思います。本当にありがとうございました。

## Message 〈大会での活躍〉

躍動・感動・輝く 仙台育英

### 【宮城県高校新人大会優勝・春全国大会出場】

#### ■ 剣道部

## 全国高等学校剣道選抜大会に向けて

渡會さん【特別進学コース2年】

私たち、剣道部は、先日行われた宮城県新人戦で優勝し、来年3月に行われる全国選抜大会に出場することとなりました。昨年の新人戦では全国の切符は掴んだものの、準優勝だったので、何としても今年は、絶対優勝して全国選抜大会に出場したい、という思いが強くありました。

今年はコロナの影響もあり、思うように部活動を行うことができず、とても苦しい時期もありました。部員全員が新人戦優勝に向け、休校中も各自で自主練習をし、短い時間でも高い意識を持って中身の濃い練習を行うことで、一日一日を大切に過ごしてきました。

また、先の見えない不安定な状況の中でも皆の気持ちが切れてしまうことのないよう、練習以外にも何度もミーティングを行い、チームの意識が一つにまとまるようにしてきました。

今回の優勝を通して、これまで取り組んできたことが無駄ではなかったと確信が持てました。しかし、新たな課題もたくさん見つかりました。今後は、これらを克服して更に全国選抜大会で結果を残せるチーム作りを目指します。青木先生、馬目先生、佐藤先生のご指導のもと、自分たち自身でも今まで以上に考えて練習に取り組み、目標を達成できるようチーム一丸となって頑張ります。試合の日まで、北辰館武道場で必死に稽古していきます。



## Message 〈大会での活躍〉

躍動・感動・輝く 仙台育英

### 【東北大会優勝】

#### ■硬式野球部

## 選抜大会優勝に向けて

吉野さん【フレックスコース2年】

私たち仙台育英学園硬式野球部は、学校関係者をはじめとする多くの方々の支えをいただき、東北大会を優勝で飾ることができました。

東北大会では、新チーム始動期から取り組んできた「走塁」を最後の一戦までこだわり、優勝に繋げることができました。また、登録メンバーに選ばれなかった部員も、登録メンバーと同じ、それ以上の熱量で練習に参加して、チーム一丸となって試合に臨むことができました。東北大会は、日本一になるための通過点であるとチーム全員が思っています。今回の東北大会優勝を糧にし、この冬の練習でチームのレベルアップを図っていきたいと思います。

私たちは、3年生の先輩方が、日本一へ挑戦することができなかった悔しさを忘れません。選抜大会までの期間、一人一人が「日本一」という大きな目標に向け、1分1秒を大切に取り組む必要があります。個人の成長がチームの成長に大きくかかわります。質の高い練習を全員で作り上げ、日本一激しいメンバー争いから日本一のチームを作り上げたいと思います。

選抜大会では、紫紺の大優勝旗を持ち帰り、高校野球の歴史を変えるつもりです。



▲硬式野球部（東北楽天ゴールデンイーグルスからドラフト5位指名を受けた入江大樹くんを囲んで）【2020年10月】